

教会創立103周年

週報

2026年6月21日 5399週

【今年度のテーマ・聖句】

神の愛によって生きるキリストのからだ
「見よ、兄弟たちが共に座っている。
なんとという恵み、なんとという喜び。」
(詩編133編1節)

巻頭言

牧師 加藤英治

私に影響を与えてくれた本③
片野真佐子『孤憤のひと 柏木義円』(新教出版社、1993年)、他

内村鑑三と並んで、日露戦争に対して非戦論(戦争に反対する論、考えを主張した人として、「柏木義円」というキリスト者がいたことを聞いていました。しかし、内村ほどには有名でなく、柏木についての本も少なかったところ、この本を見てさっそく買いました。この本によれば、柏木義円は、今の新潟県で寺の住職の息子として生まれ、成長してからは同志社に学んだそうです。そこで同志社の創始者新島襄と出会い、彼の影響を受けてキリスト教信仰に至ったということです。その卒業後、柏木は、今の群馬県安中市にある安中教会の牧師となり、一生涯仕えました。

「非戦論」もさることながら、柏木の独自性は次の点にあったと語られます。「柏木義円は、ひとりの人間として、キリスト者として、天皇制下に生きるこの意味を生涯にわたって問いつけた思想家である。何びとも天皇制とは無関係に生きられなかつた戦前の日本社会にあつて、不思議なことだが、これはかなり特異であつた。」そのような立場をもつて、彼は次のような言論活動を行いました。「三八年間刊行しつづけた『上毛教界月報』をとおして、柏木義円は、日露戦争から日中戦争にいたるまで終始非戦平和を唱え、韓国併合、対華二一ヶ条要求、シベリア出兵、徴兵制等を激しく批判し、足尾鉍毒事件、売娼問題、朝鮮人虐殺事件、大杉栄、野枝虐殺事件、三・一五事件、二・二六事件、国連脱退等にも果敢に論及した。組合教会の朝鮮伝道批判は、希有にして辛辣な教会内部批判であり、日本帝国主義批判である。」

この柏木の活動を支えた信仰的基盤は何だったのでしよう。「柏木義円の思想は、徹底して弱さの上に立つ思想である。戦前天皇制は、国家そのものを究極的な価値として形式的画一的な人間観をはびこらせ、社会的弱者や異民族に対する差別と抑圧を構造内化した。その対極に言論、思想、信仰の自由を掲げ、人間の尊厳を追求した柏木は、家族との生活において、教会員との交わりにおいて、地域の人々とのかわりにおいて、人間とは何かを問いつづけた。——柏木は、人間の本质は煩悶、苦悩のうちにあらわされると確信した。——しかし人間は、それゆえにこそ、苦悩と格闘する他者の姿に人間としての共感を覚える。——悩むことのできるものだけが、生存に値する。苦痛にみちた存在だけが、神的な存在である。」

日本バプテスト シオン山教会

〒803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

TEL:093-561-0772 Fax: 093-561-0760

E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

HP-address: <https://bapzion.com>



◆ 主日礼拝 午前10時30分

司会 山下一恵執事
奏楽 田中秀一兄

前 奏
招 詞 詩編130:5~6
頌 栄 668(みさかえあれ(A))
主の祈り (新生讃美歌の扉を参照)
交 読 28(深き淵より)
讃 美 134
(生命のみことば たえにくすし)
聖 書 IIテモテ 3:10~17
(新共同訳 394p 口語訳 335p)
祈 禱
子どもメッセージ 加藤英治牧師
讃 美 292(安かれわが心よ) 聖歌隊
宣 教 「神は今も語る、
イエスは生きて語る」
加藤英治牧師
祈 禱
讃 美 137(うみべの野で)
献 金 祈り: 田中登美子姉
(受付当番)
頌 栄 679(ベネディクション)
祝 禱 加藤英治牧師
後 奏
報 告

◎今月の聖句

「他のどんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです。」
(ローマの信徒への手紙 8章39節b)

本日の集会

教会学校

幼小科

10:30~11:40

中高科、青年・成人科

9:30~10:15

主日礼拝の当番

受付: 二木榮子 持田文重

お花: 庄司まり子

聖歌隊練習・会堂清掃

11:50~12:05

昼食

12:05~12:40

執事会

12:40~14:40

◎今週の集会(6月21日~6月27日)

<聖書> テモテII 4:1~8

24日(水) 祈禱会I 10:30

祈禱会II 19:30

(司会・奨励 加藤英治牧師)

今週の聖書日課と祈り

21日(日) テモテII 3:10~17 山下 保

22日(月) 詩編 119:73 山下 湧

23日(火) 詩編 23:1~6 白石保子

24日(水) ローマ 15:1~6 高崎 満

25日(木) フィリピ 1:12~30 瀧野有希子

26日(金) コリントII 12:7~10 廣津 丈

27日(土) マタイ 28:18~20 廣津丈治